

## 当社の「保有個人データ」の利用停止の請求にあたって

### 1. 請求の対象となる「保有個人データ」

この請求の対象となる「保有個人データ」とは、「個人情報の保護に関する法律」第2条第5項に規定されるものをいい、当社が、開示等の権限を有する個人データです。なお、同法律により、次に該当するものは請求の対象から除きますのでご了承ください。

#### (1) その存否が明らかになることにより公益その他の利益が害されるもの

- ① 個人情報の本人または第三者の生命、身体または財産に危害を及ぼすおそれのあるもの
- ② 違法または不当な行為を助長し、または誘発するおそれのあるもの
- ③ 国の安全が害されるおそれ、他国もしくは国際機関との信頼関係が損なわれるおそれまたは他国もしくは国際機関との交渉上不利益を被るおそれがあるもの
- ④ 犯罪の予防、鎮圧または捜査その他の公共の安全と秩序の維持に支障を及ぼすおそれがあるもの

#### (2) 6ヶ月以内に消去することとなるもの

### 2. 請求者および代理人に確認にあたって

この請求に際しては、請求する個人情報の本人であるかどうかの確認が必要となりますので、本人の氏名と住所が記載された公的証明書（運転免許証、健康保険の被保険者証、住民基本台帳カード、パスポート、外国人登録証明書、年金手帳等）の中から2種類を選び、そのコピーを同封のうえ郵送してください。また代理の方が手続をされる場合は、本人および代理の方の上記確認書類等に加え、代理であることを示す書類（未成年者または成年被後見人の法定代理人であることを証明する書類もしくは本人からの委任状）をご提出いただきます。

### 3. 次に該当する場合は、ご請求をお断りする場合がございますので、あらかじめご了承ください。

- (1) 当社が報道および著述を目的として請求者の個人情報を利用したとき
- (2) 利用停止の求めに正当な理由があることが判明しなかった場合
- (3) 利用目的による制限および適正な取得に違反していない場合
- (4) 多額の費用を要する場合など、利用停止等を行うことが困難な場合に、当社が本人の権利利益保護のために必要な代替措置を講ずる場合
- (5) 本人確認ができない場合
- (6) 当社の定めた請求手続きに従わない場合

以上

株式会社ジャパンエフエムネットワーク

平成17年4月1日